

## 検査IV 保健体育

解答上の注意 解答はすべて**解答用紙**に記入すること。

- 1 次の文は、『高等学校学習指導要領』（平成30年告示）の一部を抜粋したものである。文中の（①）～（⑩）に入る語句を答えなさい。

## 「第1章 総則 第5款 生徒の発達の支援」

## 1 生徒の発達を支える指導の充実

- (5) 生徒が、基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、生徒や学校の実態に応じ、（①）や（②）、（③）、学習内容の習熟の程度に応じた学習、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れることや、教師間の協力による（④）を確保することなど、（⑤）や（④）の工夫改善により、個に応じた指導の充実を図ること。

## 「第2章 各学科に共通する各教科 第6節 保健体育 第1款 目標」

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、（⑥）を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を（⑦）し豊かな（⑧）を継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた（⑨）等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、（⑨）を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての（⑩）や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の（⑦）と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

## 検査Ⅳ 保 健 体 育

2 次の文と図は、『改訂「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引』（令和3年3月 文部科学省）の一部を抜粋したものである。文中及び図中の（①）～（⑤）に入る語句または数字を答えなさい。

## 「第1章 総説 第2節 指導の基本的な考え方」

小学校体育科保健領域，中学校保健体育科保健分野，高等学校保健体育科「科目保健」の学習は，生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し，改善していくための資質・能力を育成することを目標として学習内容が体系的に位置付けられている。高等学校学習指導要領解説保健体育編（平成30年7月）では，「個人及び（①）における健康・安全に関する内容」について「より（②）に理解する」としており，これらは高等学校の特徴と言える。（図）

## 検査IV 保 健 体 育

3 次の各問いに答えなさい。

- (1) 健康に関する必要な情報を選択・収集し、もっとも健康的な意思決定を行えるように知識を深めたり社会的スキルを高めたりする能力を何とというか答えなさい。
- (2) 障がいの有無、年齢、国籍などにかかわらず、はじめから誰もが使いやすいように、製品、建物などを設計するという考え方を何とというか答えなさい。
- (3) 肥満度を調べる際に用いられる身長からみた体重の割合のことを何とというか答えなさい。
- (4) 患者が納得のいく治療法を選択することができるよう、現在診療を受けている担当医とは別の医療機関の医師に「第2の意見」を求めることを何とというか答えなさい。
- (5) 日本語では「説明と同意」と訳され、医療関係者が患者に対して、十分な「説明」をし、「同意」を得たうえで治療などを行うことを何とというか答えなさい。
- (6) 原材料の受け入れから製品の出荷までの各工程において、食品に与える衛生上の危険性を分析し、それを未然に防止することが可能な管理方法を何とというか答えなさい。
- (7) アルコール、薬物などの物質への依存症に加えて、ギャンブル等への過剰な参加は習慣化すると、ある行動につながる危険性がある。日常生活にも悪影響を及ぼすこの行動を何とというか答えなさい。

4 次の文は、『学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について』（令和2年9月1日 スポーツ庁事務連絡）の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）～（ ⑤ ）に入る語句を答えなさい。

「学校の働き方改革も考慮した部活動改革の考え方」

（部活動の意義と課題）

- ・部活動は、生徒の自主的、（ ① ）な参加により行われるものであり、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、（ ② ）の一環として、学習指導要領に位置付けられた活動である。
- ・教師の勤務を要しない日（休日）の活動を含めて、教師の献身的な勤務によって支えられており、（ ③ ）の要因であることや、特に（ ④ ）がない教師には多大な（ ⑤ ）となっているとの声もある。

## 検査IV 保 健 体 育

- 5 次の文は、『スポーツ基本計画』（令和4年3月25日 文部科学省）における「スポーツ」の捉え方についての説明の一部を抜粋したものである。文中の（①）～（③）に入る語句を答えなさい。

「スポーツ」は「する」「みる」「（①）」という様々な形での「自発的な」参画を通して、「（②）」や「（③）」を感じることに本質を持つものとして捉えることとしている。

- 6 『第3次長野県スポーツ推進計画』（令和5年（2023年）3月 長野県教育委員会）について、次の各問いに答えなさい。

(1) この計画の基本理念を答えなさい。

(2) 下の表は、基本目標2「生涯を通じたスポーツ機会の充実」における「5年後の目指す姿」の達成目標の指標等をまとめた表である。（①）～（④）に入る語句または数字を答えなさい。

指標名	現状	目標 令和9年度	備考
成人の運動・スポーツ実施率（成人の週（①）日以上）	60.8% （令和3年度）	（②）%	・国の第3期スポーツ基本計画の目標値と同一 【県政モニターアンケート調査】
直接スポーツ（③）率	8.0% （令和3年度）	20%	・本県の過去最高割合（13.5%）の更新を目指す 【県政モニターアンケート調査】
スポーツボランティア参加率	4.2% （令和3年度）	15%	・本県の過去最高割合（10.7%）の更新を目指す 【県政モニターアンケート調査】
地域のスポーツクラブへの加入率	8.7% （令和3年度）	20%	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準（約10%）からの倍増を目指す 【（加入者数）スポーツ課調】 【（県人口）毎月人口異動調査】
障がいのある人が参加するプログラムを行っている（④）の割合	26.9% （令和3年度）	50%	・令和10年の本県での全障スポ開催を1年前に控え、全（④）の半数を目指す 【障がい者支援課調】

## 検査IV 保 健 体 育

7 長野県では、令和10年(2028年)に第82回国民スポーツ大会の開催が予定されている。正式競技は都道府県対抗で実施され、競技得点と参加得点を合計したものを男女総合成績としている。競技得点は各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与えられるが、下記①～③の競技(種別・種目)が1位の場合、競技得点は何点獲得できるか答えなさい。なお、同順位の場合は考えないものとする。

- ① バスケットボール 少年男子
- ② アイスホッケー 成年男子
- ③ トライアスロン 成年女子

8 次の各問いに答えなさい。なお、競技規則については2024年3月時点のものとする。

(1) 高等学校における陸上競技の授業で、高等学校から扱われる「やり投げ」以外の運動種目を2つ答えなさい。

(2) 競泳競技について、正しいものを全て選び記号で答えなさい。

- ① 自由形は、バタフライで泳いでもよい。ただし、メドレーリレーおよび個人メドレーは除く。
- ② 自由形では折り返しやゴールタッチの際は体の一部が壁に触れなければならない。
- ③ 平泳ぎでは折り返し後に、最初の平泳ぎの蹴りの前にバタフライの蹴りが1回許される。
- ④ 平泳ぎにおいて折り返し後、10mまで2回の腕かきと1回の足の蹴りの順序で行う組み合わせでなければならない。
- ⑤ バタフライにおいてゴールタッチは、水中で両手を重ねた状態で行わなければならない。

(3) 柔道の連絡技について、次のうち「違う方向にかける連絡技」となるものを全て選び記号で答えなさい。

- ① 釣り込み腰 → 払い腰
- ② 内股 → 体落とし
- ③ 釣り込み腰 → 大内刈り
- ④ 大内刈り → 背負い投げ
- ⑤ 内股 → 大内刈り

## 検査IV 保 健 体 育

(4) ラグビーフットボールについて、文中の ( ① ) ~ ( ④ ) に入る語句または数字を答えなさい。

得点はトライ ( ① ) 点、ペナルティトライは7点、( ② ) (トライ後のゴール) は2点、ペナルティキックやドロップキックによるゴールは3点である。

競技は、立っているプレーヤーによってのみプレーされる。ボールを獲得しようとして地面に倒れた、または、ボールを持って地面に倒れたプレーヤーは、ただちに次のことをしなくてはならない。

ボールを持って立ち上がる。または、ボールを ( ③ ) する (ただし、蹴らない)。または、ボールを ( ④ ) 。

(5) 次の文は、『高等学校学習指導要領保健体育編 体育編』(平成30年告示) 解説における、現代的なリズムのダンスの〈リズムと動きの例示〉の一部を抜粋したものである。文中の ( ① ) ~ ( ④ ) に入る語句を答えなさい。

ロックでは、( ① ) なリズムに乗って全身を弾ませながら、後打ち( ( ② ) ) のリズムの特徴を捉えたステップや ( ③ ) を中心とした弾む動きで ( ④ ) に踊ること。

(6) バスケットボールにおいて、コート上でライブのボールを持ったまま、片足または両足を方向に関係なく、定められた範囲を超えて移動させることを何とというか答えなさい。

(7) サッカーにおいて、オフサイドポジションにいる競技者が、ボールを直接受けてもオフサイドの反則ではないケースを、コーナーキック以外で2つ答えなさい。